



あなたご自身に関するアンケート

モニターの皆様へのお願い

本アンケートには、一般に公開していない情報が含まれる場合があります。
アンケート内で知り得た情報について、決して第三者に口外しないよう、お願いします。

「第三者への口外」に含まれる例

- 口頭、電話、メール等で友人・知人に話す
- 掲示板やブログに書き込む
- その他、手段を問わず、情報を第三者に伝達する行為

注意事項

- 複数のアンケート画面を同時に開くと、正常に回答できません。
アンケートはひとつずつ、回答ください。
- アンケートへの回答は、「動作環境」に記載の環境からお願いします。
- 回答結果は、当社の「個人情報保護方針」に基づいて取り扱います。

上記の内容をご確認いただき、同意してご協力いただける場合のみ、「同意し、アンケート開始」を押してアンケートを開始してください。

同意し、アンケート開始

改ページ

I. あなたご自身についてお伺いします。

Q1
必須

現在、配偶者はいらっしゃいますか。

- ☐ 1.いる
- ☐ 2.いない

次へ

改ページ

条件設定

選択肢表示条件

前提条件 全て表示

No	条件式	表示項目
1	(Q1 or 2)	1. 世帯主 3. 世帯主の子 5. 世帯主の孫 6. 世帯主の父母 7. 世帯主の配偶者の父母 8. その他：

Q2
必須

世帯主との続柄は、以下のうちどれに当たりますか。

- ☐ 1.世帯主 *
- ☐ 2.世帯主の配偶者
- ☐ 3.世帯主の子 *
- ☐ 4.子の配偶者
- ☐ 5.世帯主の孫 *
- ☐ 6.世帯主の父母 *
- ☐ 7.世帯主の配偶者の父母 *
- ☐ 8.その他： * (回答必須)(入力制限なし)(200文字まで)

Q3

必須

あなたの世帯人数（ご自身を含む）は何人ですか。

1.1人（単身）

2.2人

3.3人

4.4人

5.5人

6.6人以上

次へ

[選択肢] 番号は回答者へは表示しません

改ページ

質問表示条件

条件式

(Q3 or 2~6)

Q4

必須

あなたには同居しているお子様がいらっしゃいますか。
(矢印方向にそれぞれひとつだけ)

	1. いる	2. いない
1. 高校生以上の子供		
2. 中学校・小学校の子供		
3. 小学校就学前の子供		

質問表示条件

条件式

(Q3 or 2~6)

Q5

必須

あなたには同居している要介護者がいらっしゃいますか。

1.いる

2.いない

次へ

改ページ

Q6

必須

あなたの身長、体重をお答えください。
(半角数字でご記入ください)

身長

テキストボックス1

cm

【必須】(数字小数不可)(制限あり:100以上250以内)

体重

テキストボックス2

kg

【必須】(数字小数不可)(制限あり:30以上200以内)

次へ

改ページ

Q7

必須

あなたの世帯全体の年間収入（税込み）は、以下のうちどれに当たりますか。

1.100万円未満

9.800～899万円

2.100～199万円

10.900～999万円

3.200～299万円

11.1,000～1,249万円

4.300～399万円

12.1,250～1,499万円

5.400～499万円

13.1,500～1,999万円

6.500～599万円

14.2,000～2,499万円

7.600～699万円

15.2,500～2,999万円

8.700～799万円

16.3,000万円以上

次へ

[選択肢] 番号は回答者へは表示しません

改ページ

Q8

必須

あなたのお住まいは、次のうちどれに当たりますか。

☐ 1.持家

☐ 2.借家（賃貸）

☐ 3.その他： (回答必須)(入力制限なし)(200文字まで)

次へ

改ページ

Q9

必須

あなたが現在居住している都道府県はどちらですか。

☐ 1.北海道

☐ 2.青森県

☐ 3.岩手県

☐ 4.宮城県

☐ 5.秋田県

☐ 6.山形県

☐ 7.福島県

☐ 8.茨城県

☐ 9.栃木県

☐ 10.群馬県

☐ 11.埼玉県

☐ 12.千葉県

☐ 13.東京都

☐ 14.神奈川県

☐ 15.新潟県

☐ 16.富山県

☐ 17.石川県

☐ 18.福井県

☐ 19.山梨県

☐ 20.長野県

☐ 21.岐阜県

☐ 22.静岡県

☐ 23.愛知県

☐ 24.三重県

☐ 25.滋賀県

☐ 26.京都府

☐ 27.大阪府

☐ 28.兵庫県

☐ 29.奈良県

☐ 30.和歌山県

☐ 31.鳥取県

☐ 32.島根県

☐ 33.岡山県

☐ 34.広島県

☐ 35.山口県

☐ 36.徳島県

☐ 37.香川県

☐ 38.愛媛県

☐ 39.高知県

☐ 40.福岡県

☐ 41.佐賀県

☐ 42.長崎県

☐ 43.熊本県

☐ 44.大分県

☐ 45.宮崎県

☐ 46.鹿児島県

☐ 47.沖縄県

次へ

改ページ

Q10

必須

現在居住している都道府県に、今まで何年間続けてお住まいですか。
() に数字をお書きください。
(半角数字でご記入ください)

テキストボックス1

約年

【必須】(数字小数不可)(制限あり:1以上79以内)

次へ

改ページ

Q11

必須

あなたの御出身の都道府県はどちらですか。

☐ 1.北海道

☐ 2.青森県

☐ 3.岩手県

☐ 4.宮城県

☐ 5.秋田県

☐ 6.山形県

☐ 7.福島県

☐ 8.茨城県

☐ 9.栃木県

☐ 10.群馬県

☐ 11.埼玉県

☐ 12.千葉県

☐ 13.東京都

☐ 14.神奈川県

☐ 15.新潟県

☐ 16.富山県

☐ 17.石川県

☐ 18.福井県

☐ 19.山梨県

☐ 20.長野県

☐ 21.岐阜県

☐ 22.静岡県

☐ 23.愛知県

☐ 24.三重県

☐ 25.滋賀県

☐ 26.京都府

☐ 27.大阪府

☐ 28.兵庫県

☐ 29.奈良県

☐ 30.和歌山県

☐ 31.鳥取県

☐ 32.島根県

☐ 33.岡山県

☐ 34.広島県

☐ 35.山口県

☐ 36.徳島県

☐ 37.香川県

☐ 38.愛媛県

☐ 39.高知県

☐ 40.福岡県

☐ 41.佐賀県

☐ 42.長崎県

☐ 43.熊本県

☐ 44.大分県

☐ 45.宮崎県

☐ 46.鹿児島県

☐ 47.沖縄県

☐ 48.海外

次へ

改ページ

質問表示条件

条件式

((Q9 num) != (Q11 num))

Q12

必須

現在居住している都道府県が御出身の都道府県と異なる場合、居住地が変わった主な理由は何でしたか。
(いくつでも)

- ☐ 1.就学
- ☐ 2.就職・転職
- ☐ 3.企業・組織内での人事異動
- ☐ 4.結婚
- ☐ 5.家族（親・配偶者）の転勤
- ☐ 6.その他： (回答必須)(入力制限なし)(200文字まで)

次へ

改ページ

Q13

必須

あなたは喫煙をされますか。

- ☐ 1.喫煙している
- ☐ 2.以前は喫煙していたがやめた（約： (回答必須)(数字小数不可)(制限あり:0以上79以内)年前)
- ☐ 3.もともと喫煙していない

次へ

改ページ

Q14

必須

一般論として、あなたは、リスクを取るのを好むタイプですか、それともリスクを取るのを避けるタイプですか。

- ☐ 1.リスクを避ける
- ☐ 2.どちらかと言えばリスクを避ける
- ☐ 3.どちらとも言えない
- ☐ 4.どちらかと言えばリスクを好む
- ☐ 5.リスクを好む

次へ

改ページ

Q15

必須

あなたは、全体として、現在の生活にどの程度満足していますか。

- ☐ 1.満足している
- ☐ 2.まあ満足している
- ☐ 3.どちらともいえない
- ☐ 4.やや不満である
- ☐ 5.不満である

次へ

改ページ

Q16-1

必須

あなたの最終学歴は、次のうちどれですか。
在学中の方は、現在在学中の学校についてお選びください。
また、卒業、在学中のいずれかを選んでください。

- ☐ 1.小学校・中学校
- ☐ 2.高校・旧制中学
- ☐ 3.専門学校
- ☐ 4.短大・高専
- ☐ 5.大学
- ☐ 6.大学院（修士課程）
- ☐ 7.大学院（博士課程）

Q16-2

必須

現在、在学中ですか。

1.卒業した

2.在学中である

次へ

改ページ

質問表示条件

条件式

(Q16-1 or 5~7)

Q17

必須

大学・大学院での専攻は、理科系・文科系のいずれですか。

1.理科系

2.文科系

3.どちらともいえない

次へ

改ページ

Q18

必須

現在、あなたは収入のあるお仕事をしていますか。

1.している

2.していない

次へ

改ページ

質問表示条件

条件式

(Q18 or 1)

Q19

必須

あなたの就労形態は、次のうちどれに当たりますか。

1.会社などの役員

2.自営業主

3.自営業の手伝い

4.正社員・正職員

5.パートタイム

6.アルバイト

7.派遣社員

8.契約社員

9.嘱託

次へ

改ページ

質問表示条件

条件式

(Q18 or 1)

Q20

必須

お勤め先の業種は、次のうちどれに当たりますか。

☐ 1.農林水産業

☐ 2.建設業

☐ 3.製造業

☐ 4.情報通信業

☐ 5.運輸業

☐ 6.卸売・小売業

☐ 7.金融・保険業

☐ 8.不動産業

☐ 9.飲食・宿泊業

☐ 10.医療・福祉

☐ 11.教育

☐ 12.サービス業

☐ 13.公務

☐ 14.その他：

(回答必須)(入力制限なし)(200文字まで)

質問表示条件

条件式

(Q18 or 1)

Q21

必須

あなたの職種は、次のうちどれに当たりますか。

☐ 1.管理職

☐ 2.専門的・技術的職種

☐ 3.事務職

☐ 4.販売職

☐ 5.営業職

☐ 6.サービス職

☐ 7.保安職

☐ 8.農林漁業

☐ 9.生産工程業務

☐ 10.輸送・機械運転業務

☐ 11.建設・採掘業務

☐ 12.運搬・清掃・包装等業務

☐ 13.その他：

(回答必須)(入力制限なし)(200文字まで)

質問表示条件

条件式

(Q18 or 1)

Q22

必須

あなたの通常の1週間の就業時間（残業を含む）は、以下のどれに当たりますか。

☐ 1.15時間未満

☐ 2.15～19時間

☐ 3.20～21時間

☐ 4.22～29時間

☐ 5.30～34時間

☐ 6.35～42時間

☐ 7.43～45時間

☐ 8.46～48時間

☐ 9.49～59時間

☐ 10.60～64時間

☐ 11.65～74時間

☐ 12.75時間以上

次へ

[選択肢] 番号は回答者へは表示しません

改ページ

質問表示条件

条件式

(Q18 or 1)

Q23

必須

通常のあなたの一週間の就労日数は何日ですか。

☐ 1.7日

☐ 2.6日

☐ 3.5日

☐ 4.4日

☐ 5.3日以下

☐ 6.不定期・その他

次へ

[選択肢] 番号は回答者へは表示しません

改ページ

質問表示条件

条件式

((Q16-2 or 2) OR (Q18 or 1))

Q24

必須

就労・就学されている場合、あなたの1日の通勤・通学時間は往復でどの程度ですか。

1.0分（自宅で仕事・学習）

2.30分未満

3.30分以上1時間未満

4.1時間以上1時間30分未満

5.1時間30分以上2時間未満

6.2時間以上2時間半未満

7.2時間半以上3時間未満

8.3時間以上3時間半未満

9.3時間半以上4時間未満

10.4時間以上

次へ

【選択肢】 番号は回答者へは表示しません

改ページ

質問表示条件

条件式

(Q18 or 1)

Q25

必須

現在の就業先（会社、団体など）での勤続年数は何年ですか。
（半角数字でご記入ください）

（注：会社・団体などの中での異動・転勤は、就業先が継続しているものとしてお答えください。）

テキストボックス1年 【必須】 (数字小数不可)(制限あり:0以上79以内)

次へ

改ページ

質問表示条件

条件式

(Q18 or 1)

Q26

必須

あなたは、もともと予定されていなかった残業を急にしなければならなくなることがありますか。

1.頻繁にある

2.時々ある

3.あまりない

4.全くない

次へ

改ページ

質問表示条件

条件式

(Q18 or 1)

Q27

必須

あなたは、予定していた休暇を業務上の事情で取ることができなくなることがありますか。

1.頻繁にある

2.時々ある

3.あまりない

4.全くない

次へ

改ページ

質問表示条件

条件式

(Q18 or 1)

Q28

必須

あなたの勤務先の都道府県は、どちらですか。

1.北海道

2.青森県

3.岩手県

4.宮城県

5.秋田県

6.山形県

7.福島県

8.茨城県

9.栃木県

10.群馬県

11.埼玉県

12.千葉県

13.東京都

14.神奈川県

15.新潟県

16.富山県

17.石川県

18.福井県

19.山梨県

20.長野県

21.岐阜県

22.静岡県

23.愛知県

24.三重県

25.滋賀県

26.京都府

27.大阪府

28.兵庫県

29.奈良県

30.和歌山県

31.鳥取県

32.島根県

33.岡山県

34.広島県

35.山口県

36.徳島県

37.香川県

38.愛媛県

39.高知県

40.福岡県

41.佐賀県

42.長崎県

43.熊本県

44.大分県

45.宮崎県

46.鹿児島県

47.沖縄県

次へ

改ページ

質問表示条件

条件式

(Q18 or 1)

Q29

必須

あなたはテレワークをしていますか。
以下の中から選んでください。

(注：「テレワーク」は自宅または通勤時間の短いサテライト・オフィスで仕事を行うことをいいます。)

1.していない

2.している（週1日以下）

3.している（週2日程度）

4.している（週3～4日）

5.している（週5日以上）

次へ

改ページ

質問表示条件

条件式

(Q18 or 1)

Q30

必須

あなたは労働組合に入っていますか。

1.入っている

2.入っていない

次へ

条件設定

選択肢表示条件

前提条件 全て非表示

No	条件式	表示項目
1	(Q7 or 1)	1. 50万円未満 2. 50～99万円
2	(Q7 or 2)	1. 50万円未満 2. 50～99万円 3. 100～149万円 4. 150～199万円
3	(Q7 or 3)	1. 50万円未満 2. 50～99万円 3. 100～149万円 4. 150～199万円 5. 200～249万円 6. 250～299万円
4	(Q7 or 4)	1. 50万円未満 2. 50～99万円 3. 100～149万円 4. 150～199万円 5. 200～249万円 6. 250～299万円 7. 300～399万円
5	(Q7 or 5)	1. 50万円未満 2. 50～99万円 3. 100～149万円 4. 150～199万円 5. 200～249万円 6. 250～299万円 7. 300～399万円 8. 400～499万円
6	(Q7 or 6)	1. 50万円未満 2. 50～99万円 3. 100～149万円 4. 150～199万円 5. 200～249万円 6. 250～299万円 7. 300～399万円 8. 400～499万円 9. 500～599万円
7	(Q7 or 8)	1. 50万円未満 2. 50～99万円 3. 100～149万円 4. 150～199万円 5. 200～249万円 6. 250～299万円 7. 300～399万円 8. 400～499万円 9. 500～599万円 10. 600～699万円 11. 700～799万円
8	(Q7 or 9)	1. 50万円未満 2. 50～99万円 3. 100～149万円 4. 150～199万円 5. 200～249万円 6. 250～299万円 7. 300～399万円 8. 400～499万円 9. 500～599万円 10. 600～699万円 11. 700～799万円 12. 800～899万円
9	(Q7 or 10)	1. 50万円未満 2. 50～99万円 3. 100～149万円 4. 150～199万円 5. 200～249万円 6. 250～299万円 7. 300～399万円 8. 400～499万円 9. 500～599万円 10. 600～699万円 11. 700～799万円 12. 800～899万円 13. 900～999万円
10	(Q7 or 11)	1. 50万円未満 2. 50～99万円 3. 100～149万円 4. 150～199万円 5. 200～249万円 6. 250～299万円 7. 300～399万円 8. 400～499万円 9. 500～599万円 10. 600～699万円 11. 700～799万円 12. 800～899万円 13. 900～999万円 14. 1,000～1,249万円
11	(Q7 or 12)	1. 50万円未満 2. 50～99万円 3. 100～149万円 4. 150～199万円 5. 200～249万円 6. 250～299万円 7. 300～399万円 8. 400～499万円 9. 500～599万円 10. 600～699万円 11. 700～799万円 12. 800～899万円 13. 900～999万円 14. 1,000～1,249万円 15. 1,250～1,499万円
12	(Q7 or 13)	1. 50万円未満 2. 50～99万円 3. 100～149万円 4. 150～199万円 5. 200～249万円 6. 250～299万円 7. 300～399万円 8. 400～499万円 9. 500～599万円 10. 600～699万円 11. 700～799万円 12. 800～899万円 13. 900～999万円 14. 1,000～1,249万円 15. 1,250～1,499万円 16. 1,500～1,749万円 17. 1,750～1,999万円
13	(Q7 or 14~16)	1. 50万円未満 2. 50～99万円 3. 100～149万円 4. 150～199万円 5. 200～249万円 6. 250～299万円 7. 300～399万円 8. 400～499万円 9. 500～599万円 10. 600～699万円 11. 700～799万円 12. 800～899万円 13. 900～999万円 14. 1,000～1,249万円 15. 1,250～1,499万円 16. 1,500～1,749万円 17. 1,750～1,999万円 18. 2,000万円以上
14	(Q7 or 7)	1. 50万円未満 2. 50～99万円 3. 100～149万円 4. 150～199万円 5. 200～249万円 6. 250～299万円 7. 300～399万円 8. 400～499万円 9. 500～599万円 10. 600～699万円

質問表示条件

条件式

(Q18 or 1)

Q31

必須

現在のお仕事からの年間収入（税込み）は、以下のうちどれに当たりますか。

☐

1.50万円未満

☐

10.600～699万円

☐

2.50～99万円

☐

11.700～799万円

☐

3.100～149万円

☐

12.800～899万円

☐

4.150～199万円

☐

13.900～999万円

☐

5.200～249万円

☐

14.1,000～1,249万円

☐

6.250～299万円

☐

15.1,250～1,499万円

☐

7.300～399万円

☐

16.1,500～1,749万円

☐

8.400～499万円

☐

17.1,750～1,999万円

☐

9.500～599万円

☐

18.2,000万円以上

次へ

[選択肢] 番号は回答者へは表示しません

改ページ

質問表示条件

条件式

(Q18 or 1)

Q32

必須

あなたは、全体として、現在のお仕事にどの程度満足していますか。

☐

1.満足している

☐

2.まあ満足している

☐

3.どちらともいえない

☐

4.やや不満である

☐

5.不満である

次へ

改ページ

Q33

必須

あなたは、何歳まで働きたいですか。
(半角数字でご記入ください)

テキストボックス1

歳まで

【必須】(数字小数不可)(制限あり:20以上150以内)

次へ

改ページ

Q34

必須

あなたは、仕事に関連する資格をお持ちですか。
また、その資格は現在のお仕事に使っていらっしゃいますか。

(注：普通運転免許（一種）を除く。)

☐

1.資格を持っており、現在の仕事で使っている

☐

2.資格を持っているが、現在の仕事では使っていない

☐

3.仕事に関連する資格は持っていない

次へ

改ページ

質問表示条件

条件式

(Q34 or 1～2)

Q35

必須

あなたは、その資格を持っていないと業務を行うことが法令上できないような職業資格をお持ちですか。

(注：医師、歯科医師、看護師、薬剤師、歯科衛生士、弁護士、弁理士、公認会計士、税理士、建築士、理容師、美容師など。)

☐

1.資格を持っており、現在の仕事で使っている

☐

2.資格を持っているが、現在の仕事では使っていない

☐

3.そのような資格は持っていない

質問表示条件

条件式

(Q34 or 1~2)

Q36

必須

資格は、いつ頃に取得されましたか。
現在のお仕事に使っている最も重要な資格について、お仕事に使っていない場合にはお持ちの資格のうち最も重要と考えるものについてお答えください。

☐ 1.在学中

☐ 2.卒業以降の非就労中

☐ 3.以前の職場に就職中

☐ 4.現在の職場に就職中

質問表示条件

条件式

(Q34 or 1~2)

Q37

必須

その資格は、以下のうちのどの分野のものですか。

☐ 1.医療・保健関係

☐ 7.情報・通信関係

☐ 2.介護・福祉関係

☐ 8.法務・財務・税務関係

☐ 3.教育・保育関係

☐ 9.理美容関係

☐ 4.建築・不動産関係

☐ 10.外国語関係

☐ 5.土木・設備関係

☐ 11.芸術・デザイン関係

☐ 6.運輸関係

☐ 12.その他

質問表示条件

条件式

(Q34 or 1~2)

Q38

必須

その資格を取得されたのは、あなたが何歳の時ですか。
(半角数字でご記入ください)

テキストボックス1

歳

【必須】(数字小数不可)(制限あり:0以上79以内)

次へ

改ページ

II. 所得・消費・経済の見通しについてお伺いします。

Q39

必須

あなたの就労状態は、5年後どうなっていると予想しますか。

☐ 1.就労している

☐ 2.就労していない

次へ

改ページ

Q40

必須

今後、あなたの賃金や世帯所得が一時的に増加するとした場合、主にどのように使いたいと思いますか。
以下の中から一つ選んでください。

☐ 1.電気製品・自動車・衣服などモノの購入額を増やしたい

☐ 2.旅行・外食・娯楽などサービス支出額を増やしたい

☐ 3.貯金を増やしたい

次へ

改ページ

Q41

必須

今後、あなたの賃金や世帯所得が、**今後、継続的に**増加するとした場合、主にどのように使いたいと思いますか。
以下の中から一つ選んでください。

- ☐

1.電気製品・自動車・衣服などモノの購入額を増やしたい
- ☐

2.旅行・外食・娯楽などサービス支出額を増やしたい
- ☐

3.貯金を増やしたい

次へ

改ページ

Q42

必須

最近の**5年間**にあなたの**世帯全体での年収**（税込み。金融資産からの収入や年金収入を含む総額）はどうなりましたか。
1～3のうち該当するものを選んだ上で、（ ）に**予想する数字**を記入してください。

（注：例えば5%程度増加した場合、1を選んで（ ）に5と記入。）

- ☐

1.5年前より **(回答必須)(数字小数不可)(制限あり:1以上100以内)**%増加
- ☐

2.同程度（0%の変化）
- ☐

3.5年前より **(回答必須)(数字小数不可)(制限あり:1以上100以内)**%減少

次へ

改ページ

■あなたの世帯全体での年収の今後の見通しについてお伺いします。

Q43

必須

あなたの世帯年収（税込み。金融資産からの収入や年金収入を含む総額）は**5年後**、現在に比べてどうなると予想しますか。
1～3のうち該当するものを選んだ上で、（ ）に**予想する数字**を記入してください。

（注：例えば10%程度増加すると思われる場合、1を選んで（ ）に10と記入。）

- ☐

1.現在より **(回答必須)(数字小数不可)(制限あり:1以上100以内)**%増加
- ☐

2.現在と同程度（0%の変化）
- ☐

3.現在より **(回答必須)(数字小数不可)(制限あり:1以上100以内)**%減少

Q44

必須

その数字が**90%の確率**で実現すると思う範囲は以下のどれに当たりますか。

（注：例えば、5年後の世帯年収の予想が10%**増加**で、90%の確率で5%増加～15%増加の範囲に収まると見込まれる場合、選択肢3の「±5%程度」を選択してください。
また、世帯年収の予想が5%**減少**で、90%の確率で15%減少～5%増加の範囲に収まると見込まれる場合、選択肢4の「±10%程度」を選択してください。）

- ☐

1.±3%未満
- ☐

2.±3%程度
- ☐

3.±5%程度
- ☐

4.±10%程度
- ☐

5.±15%程度
- ☐

6.±20%程度
- ☐

7.±20%超

次へ

改ページ

質問表示条件

条件式

(Q18 or 1)

Q45

必須

（5年前も現在も就労されている方）最近の**5年間**にあなた**ご自身の勤労収入**（税込み。賞与を含む年間給与。自営業の場合は事業収入（売上高－経費）。金融資産からの収入や年金収入は含まない）はどう変わりましたか。
1～3のうち該当するものを選んだ上で、（ ）に**予想する数字**を記入してください。

（注：例えば5%程度増加した場合、1を選んで（ ）に5と記入。）

- ☐

1.5年前より **(回答必須)(数字小数不可)(制限あり:1以上100以内)**%増加
- ☐

2.同程度（0%の変化）
- ☐

3.5年前より **(回答必須)(数字小数不可)(制限あり:1以上100以内)**%減少
- ☐

4.5年前は働いていなかった

次へ

改ページ

質問表示条件

条件式

((Q18 or 1) AND (Q39 or 1))

■ あなたご自身の勤労収入の今後の見通しについてお伺いします。

（注：現在就労しており、5年後も就労していると予想される方。）

Q46

必須

あなたの勤労収入は5年後、現在に比べてどうなると予想しますか。
1～3のうち該当するものを選んだ上で、（ ）に予想する数字を記入してください。

（注：例えば10%程度増加すると思われる場合、1を選んで（ ）に10と記入。）

- ☐

1.現在より (回答必須)(数字小数不可)(制限あり:1以上100以内)%増加
- ☐

2.現在と同程度（0%の変化）
- ☐

3.現在より (回答必須)(数字小数不可)(制限あり:1以上100以内)%減少

質問表示条件

条件式

((Q18 or 1) AND (Q39 or 1))

Q47

必須

その数字が90%の確率で実現すると思う範囲は以下のどれに当たりますか。

（注：例えば、5年後の年収の予想が5%増加で、90%の確率で2%増加～8%増加の範囲に収まると見込まれる場合、選択肢2の「±3%程度」を選択してください。
また、年収の予想が10%減少で、90%の確率で20%減少～横ばいの範囲に収まると見込まれる場合、選択肢4の「±10%程度」を選択してください。）

- ☐

1.±3%未満
- ☐

2.±3%程度
- ☐

3.±5%程度
- ☐

4.±10%程度
- ☐

5.±15%程度
- ☐

6.±20%程度
- ☐

7.±20%超

次へ

改ページ

III. 働き方についてお伺いします。

Q48

必須

通勤時間が往復で1時間増えるのと、勤務時間が1時間増えるのを比較すると、あなたはど
う思いますか。

（注：現在就労していない人は、仮に就労しているとしてお答えください。）

- ☐

1.通勤時間が増える方が嫌である
- ☐

2.勤務時間が増える方が嫌である
- ☐

3.時間が同じならば違いはない

次へ

改ページ

Q49

必須

自宅または通勤時間の短いサテライト・オフィスで仕事を行う「テレワーク」についてどう思
いますか。

- ☐

1.仕事と家庭の両立や、働く時間の生産性向上などの観点から望ましい
- ☐

2.職場内のコミュニケーションの不足や、仕事の効率の低下につながるおそれがあり望ましくない
- ☐

3.どちらとも言えない

次へ

改ページ

Q50

必須

テレワークは、通勤時間を節約できる、仕事と家庭を両立しやすいなど、就労者にとってメリ
ットがあると考えられます。
テレワークを行う場合の賃金について以下のうちいずれが適当だと考えますか。

- ☐

1.職場での勤務の場合とテレワークとは同じ賃金水準とするのが適当である
- ☐

2.就労者にとってのメリットを考慮すれば、
テレワークの時間当たり賃金はある程度低い水準とするのが適当である（具体的には (回答必須)(数字小数不可)(制限あり:0以上100以内)%程度）

次へ

■あなたが残業をしなければならないとします。

（注：現在就労していない人は、仮に就労しているとしてお答えください。）

Q51 必須	取引先や上司との関係で2時間の残業を当日になって急に命じられるのと、かなり前から日程が決まっている2時間の残業を2日間（合計4時間）するのとを比較したとき、あなたはどちらを思いますか。
	1.他の予定が立てにくくなるので直前に命じられる2時間の残業の方が嫌である
	2.あらかじめ日程が決まっても4時間残業の方が嫌である
	3.同じようなものである

次へ

Q52 必須	あなたにとって、事前に予定がわからない2時間の残業は、かなり前から日程が確定している残業何時間と同じくらい嫌ですか。 逆に言うと、突然の残業2時間を選けることができるならば、あらかじめ日程がわかっている何時間の残業を受け入れることができますか。 (半角数字でご記入ください) (2以上の数字をご記入ください)
--	---

テキストボックス1

時間程度【必須】(数字小数不可)(制限あり:2以上99以内)

次へ

■あなたが（有給）休暇を取ろうとしているとします。

（注：現在就労していない人は、仮に就労しているとしてお答えください。）

Q53 必須	かなり前から予定した日程で確実に取得できる2日間の休暇と、前日にならないと休暇をとれるかどうかが確定しない（予定していても急に出勤しなければならなくなる可能性がある）4日間の休暇のいずれかを選ぶとすれば、どちらが良いですか。
	1.休暇の過ごし方を事前に計画できるので、確実に取得できる2日間の休暇が良い
	2.事前にわからなくても、4日間の休暇の方が長いので良い
	3.同じようなものである

次へ

Q54 必須	予定した通り確実に取得できる休暇2日間は、前日にならないと休めるかどうかが確定しない休暇何日分に相当する価値がありますか。 逆に言うと、前日まで確定しない休暇何日分を犠牲にしても、予定した通り確実に取得できる休暇2日間を取得したいですか。 (半角数字でご記入ください) (2以上の数字をご記入ください)
--	--

テキストボックス1

日程度【必須】(数字小数不可)(制限あり:2以上99以内)

次へ

Q55 必須	突然の残業があったり休暇取得予定の急な変更を余儀なくされたりする仕事と、そうしたことが全くない仕事を比べた時、プライベートな予定が立てにくい前者の仕事は何%くらい給与が高ければ受け入れることができますか。 総労働時間や仕事の難しさは同じだとしてお答えください。 (半角数字でご記入ください)
--	---

テキストボックス1

%程度【必須】(数字小数不可)(制限あり:0以上100以内)

次へ

IV. 経済のサービス化やイノベーションについてお伺いします。

Q56

必須

以下に挙げるサービスの質は、10年前と比べてどうなったと感じますか。
各サービスについて、数字で表すとすれば何%ぐらい向上した、あるいは何%ぐらい低下したと感じるか、以下の選択肢から選んで記入してください。
(矢印方向にそれぞれひとつだけ)

(注：各サービスのコスト・パフォーマンスの観点からではなく、価格とは関係なくサービスの質自体についての感じをお答えください。
また、あなたの所得の変化によって利用するサービスのクラスが変わったことを考慮しないで
お答えください。)

		1. 向上 (+30%以上)	2. 向上 (+20～30%)	3. 向上 (+10～20%)	4. 向上 (+5～10%)	5. 向上 (+5%未満)	6. 変わらない (ほぼ0%)	7. 低下 (▲5%未満)	8. 低下 (▲5～▲10%)	9. 低下 (▲10～▲20%)	10. 低下 (▲20～▲30%)	11. 低下 (▲30%以上)
1. タクシー	➡	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
2. レンタカー	➡	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
3. 自動車整備	➡	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
4. 地下鉄	➡	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
5. 遠距離鉄道	➡	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
6. 航空旅客輸送	➡	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
7. 宅配便	➡	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
8. コンビニエンスストア	➡	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
		1. 向上 (+30%以上)	2. 向上 (+20～30%)	3. 向上 (+10～20%)	4. 向上 (+5～10%)	5. 向上 (+5%未満)	6. 変わらない (ほぼ0%)	7. 低下 (▲5%未満)	8. 低下 (▲5～▲10%)	9. 低下 (▲10～▲20%)	10. 低下 (▲20～▲30%)	11. 低下 (▲30%以上)
9. 総合スーパー	➡	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
10. 百貨店	➡	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
11. 一般小売店	➡	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
12. 食堂・レストラン	➡	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
13. 旅館	➡	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
14. シティホテル	➡	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
15. ビジネスホテル	➡	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
16. 銀行	➡	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
		1. 向上 (+30%以上)	2. 向上 (+20～30%)	3. 向上 (+10～20%)	4. 向上 (+5～10%)	5. 向上 (+5%未満)	6. 変わらない (ほぼ0%)	7. 低下 (▲5%未満)	8. 低下 (▲5～▲10%)	9. 低下 (▲10～▲20%)	10. 低下 (▲20～▲30%)	11. 低下 (▲30%以上)
17. 保険	➡	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
18. 不動産業	➡	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
19. 病院	➡	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
20. 郵便	➡	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
21. 通信サービス	➡	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
22. テレビ放送	➡	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
23. 理容・美容	➡	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
24. クリーニング	➡	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
		1. 向上 (+30%以上)	2. 向上 (+20～30%)	3. 向上 (+10～20%)	4. 向上 (+5～10%)	5. 向上 (+5%未満)	6. 変わらない (ほぼ0%)	7. 低下 (▲5%未満)	8. 低下 (▲5～▲10%)	9. 低下 (▲10～▲20%)	10. 低下 (▲20～▲30%)	11. 低下 (▲30%以上)
25. 旅行代理店	➡	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
26. 建物補修・管理	➡	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
27. 博物館・美術館	➡	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
28. 小中学校教育	➡	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
29. 大学教育	➡	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
30. 塾・補習教育	➡	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
31. 行政サービス	➡	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
32. スポーツ施設	➡	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q57

必須

この1年ほどの間、人手不足の深刻化によって、サービスの質が低下していると感じるものはありますか。
前問で挙げたサービスのうち該当するものをすべて選んでください。
(いくつでも)

☐

1.タクシー

☐

2.レンタカー

☐

3.自動車整備

☐

4.地下鉄

☐

5.遠距離鉄道

☐

6.航空旅客

☐

7.宅配便

☐

8.コンビニエンスストア

☐

9.総合スーパー

☐

10.百貨店

☐

11.一般小売店

☐

12.食堂・レストラン

☐

13.旅館

☐

14.シティホテル

☐

15.ビジネスホテル

☐

16.銀行

☐

17.保険

☐

18.不動産業

☐

19.病院

☐

20.郵便

☐

21.通信サービス

☐

22.テレビ放送

☐

23.理容・美容

☐

24.クリーニング

☐

25.旅行代理店

☐

26.建物補修・管理

☐

27.博物館・美術館

☐

28.小中学校教育

☐

29.大学教育

☐

30.塾・補習教育

☐

31.行政サービス

☐

32.スポーツ施設

次へ

改ページ

Q58

必須

一般論として、日本人には「サービスはタダ」という意識があり、サービスが過剰であるという議論があります。
こうした議論をどう思いますか。

☐

1.日本のサービスは過剰だと思う

☐

2.日本のサービスが過剰だとは思わない

☐

3.むしろ日本のサービスは過小だと思う

次へ

改ページ

Q59

必須

宅配サービスにおける時間指定の配達など、付加的なサービスの料金について、あなたのお考えをお聞かせください。

☐

1.付加的なサービスについて追加料金を徴収する方式が望ましい

☐

2.付加的なサービスがない場合に価格引き下げを行う方式が望ましい

☐

3.付加的なサービスの有無にかかわらず、均一の料金設定を行うことが望ましい

次へ

改ページ

Q60

必須

宅配サービスの配達時間を1時間の幅で指定したとして、確実にその通り配達されるのと比べて、指定した時間の幅よりも1時間早まったり遅れたりする可能性がある場合、何%程度料金が低ければそちらを利用しても良いですか。
(半角数字でご記入ください)

テキストボックス1

%程度

【必須】(数字小数不可)(制限あり:0以上100以内)

次へ

改ページ

Q61

必須

飲食店、小売店、ガソリンスタンドなど、店員がサービスを行ってくれる店舗と「セルフ方式」の店舗とがあります。
他の条件が同じとした場合、セルフ方式は何%程度安い価格設定が適当だと思いますか。
(半角数字でご記入ください)

飲食店

テキストボックス1

%程度

【必須】(数字小数不可)(制限あり:0以上100以内)

小売店

テキストボックス2

%程度

【必須】(数字小数不可)(制限あり:0以上100以内)

ガソリンスタンド

テキストボックス3

%程度

【必須】(数字小数不可)(制限あり:0以上100以内)

次へ

改ページ

Q62
必須

航空運賃・列車の特急料金、ホテル・旅館では季節・曜日・時間帯など繁忙期・閑散期によって異なる料金を設定している場合も少なくありません。
各種サービスにおいて、こうした繁閑に応じた価格設定を行うことについてどう思いますか。

- ☐ 1.望ましい
- ☐ 2.望ましくない

次へ

改ページ

Q63
必須

航空運賃・列車の特急料金、ホテル・旅館、飲食店について、あなたが、混雑する時期や時間帯にこれらサービスを利用しようとしている時、何%程度の料金差があれば利用する時期や時間帯を変えても良いと考えますか。
逆に言えば、何%程度の価格差までならば混雑する時期・時間帯に利用しますか。
(半角数字でご記入ください)

航空運輸の利用

テキストボックス1

%程度

【必須】(数字小数不可)(制限あり:0以上100以内)

特急列車の利用

テキストボックス2

%程度

【必須】(数字小数不可)(制限あり:0以上100以内)

ホテル・旅館の宿泊

テキストボックス3

%程度

【必須】(数字小数不可)(制限あり:0以上100以内)

飲食店の利用

テキストボックス4

%程度

【必須】(数字小数不可)(制限あり:0以上100以内)

次へ

改ページ

■交通機関を利用する立場からお答えください。

Q64
必須

目的地まで確実に1時間で到着する交通機関（列車、バスなど）と比較して、平均すれば1時間で到着するものの早ければ30分、遅ければ1時間30分かかる可能性がある交通機関は、何%程度料金が安ければ利用しても良いですか。
(半角数字でご記入ください)

テキストボックス1

%程度

【必須】(数字小数不可)(制限あり:0以上100以内)

次へ

改ページ

Q65
必須

航空路線を利用する際、確実に予定通り運行する便と比較して、20%の確率で欠航する可能性がある便は、何%程度料金が安ければ利用しても良いですか。
(半角数字でご記入ください)

テキストボックス1

%程度

【必須】(数字小数不可)(制限あり:0以上100以内)

次へ

改ページ

Q66
必須

ホテル・旅館とは異なり、飲食店では予約をキャンセルした場合にキャンセル料を取ることはあまり一般的ではありません。
飲食店の予約のキャンセル料についてどう思いますか。

- ☐ 1.来店者の都合で店に迷惑をかけることになるので、キャンセル料を取るべきである
- ☐ 2.多少キャンセルが出るとしても、予約制によってある程度来客の予測ができるのだから、キャンセル料は取るべきではない
- ☐ 3.個々の飲食店のポリシーの問題なので、キャンセル料を取る店とそうでない店があって、利用者が選択すれば良い

次へ

改ページ

Q67
必須

将来、仮に消費税率が30%になったとした場合（あるいは一般に外部のサービス価格が30%上昇した場合）、以下のサービスへの支出額のうちの程度（%）を自家サービス生産に切り替えようと思いますか。
(半角数字でご記入ください)

外食

テキストボックス1

%程度を自宅での食事に切り替える

【必須】(数字小数不可)(制限あり:0以上100以内)

クリーニング

テキストボックス2

%程度を自宅での洗濯に切り替える

【必須】(数字小数不可)(制限あり:0以上100以内)

理容・美容

テキストボックス3

%程度を自宅で行うことにする

【必須】(数字小数不可)(制限あり:0以上100以内)

次へ

改ページ

■人工知能（AI）やロボットの開発・普及の影響についてのお考えをお伺いします。

Q68
必須

「人工知能」についてご存知でしたか。

- ☐ 1.良く知っている
- ☐ 2.聞いたことはあるが良く知らない
- ☐ 3.聞いたことがない

Q69
必須

今後、人工知能（AI）やロボットの開発・普及が進むと予想されています。これらイノベーションがあなたの生活に及ぼす効果・影響についてどう思いますか。

- ☐ 1.大きなプラスの影響がある
- ☐ 2.プラスの影響がある
- ☐ 3.どちらとも言えない
- ☐ 4.マイナスの影響がある
- ☐ 5.大きなマイナスの影響がある

Q70
必須

人工知能やロボットが、将来のあなたの仕事に及ぼす影響をどう思いますか。

- ☐ 1.仕事が失われるおそれがある
- ☐ 2.仕事が失われるおそれはない
- ☐ 3.わからない

Q71
必須

人工知能やロボットが、将来のあなたの賃金に及ぼす影響をどう思いますか。

- ☐ 1.賃金が低下する可能性がある
- ☐ 2.賃金への影響はない
- ☐ 3.賃金が上昇する可能性がある
- ☐ 4.わからない

Q72
必須

あなたのお仕事は、細かく見れば様々な業務内容から構成されていると思います。あなたが現在行っている業務時間のうち何%ぐらいが、将来、人工知能やロボットによって代替できるようになると思いますか。
(半角数字でご記入ください)

テキストボックス1

%程度

【必須】(数字小数不可)(制限あり:0以上100以内)

Q73
必須

以下に挙げる家庭内の仕事のうち、人工知能やロボットで代替できると良いと思うものはありますか。
(いくつでも)

- ☐ 1.家事（料理、掃除、洗濯等）
- ☐ 2.育児
- ☐ 3.介護・看護
- ☐ 4.買い物
- ☐ 5.あてはまるものはない(排他)

次へ

改ページ

■人工知能やロボットによるサービスの利用者という観点からお伺いします。

Q74
必須

以下のサービスのうち、人工知能やロボットではなく人間にやってもらうのが望ましいと思うものはありますか。
該当するものをすべて選んでください。
(いくつでも)

- ☐ 1.保育サービス
- ☐ 2.介護・看護サービス
- ☐ 3.医療（病気の診断）
- ☐ 4.医療（病気の治療）
- ☐ 5.理容・美容サービス
- ☐ 6.小中学校の教育
- ☐ 7.大学教育
- ☐ 8.自動車の運転
- ☐ 9.家事（料理、掃除、洗濯等）
- ☐ 10.あてはまるものはない(排他)

次へ

改ページ

Q75

必須

仮に人工知能・ロボットによるサービスと、人間によるサービスの両方が利用可能だとした場合、人工知能・ロボットによるサービスの価格が何%程度安ければそちらを選びますか。以下のサービスごとにお答えください。
(半角数字でご記入ください)

保育サービス

テキストボックス1

%程度

【必須】(数字小数不可)(制限あり:0以上100以内)

介護・看護サービス

テキストボックス2

%程度

【必須】(数字小数不可)(制限あり:0以上100以内)

医療（病気の診断）

テキストボックス3

%程度

【必須】(数字小数不可)(制限あり:0以上100以内)

医療（病気の治療）

テキストボックス4

%程度

【必須】(数字小数不可)(制限あり:0以上100以内)

理容・美容サービス

テキストボックス5

%程度

【必須】(数字小数不可)(制限あり:0以上100以内)

小中学校の教育

テキストボックス6

%程度

【必須】(数字小数不可)(制限あり:0以上100以内)

大学教育

テキストボックス7

%程度

【必須】(数字小数不可)(制限あり:0以上100以内)

自動車の運転

テキストボックス8

%程度

【必須】(数字小数不可)(制限あり:0以上100以内)

家事（料理、掃除、洗濯等）

テキストボックス9

%程度

【必須】(数字小数不可)(制限あり:0以上100以内)

次へ

改ページ

V. 経済政策と生活・消費についてお伺いします。

Q76

必須

以下それぞれについて、実現する確率がどの程度だと思うか、次の選択肢の中から選んで数字を記入してください。
(矢印方向にそれぞれひとつだけ)

政府は、2020年度にGDP600兆円を達成するという目標を掲げています。
1. 実際にGDP600兆円が実現する確率は何%程度だと思いますか。
(注：2016年度のGDPは523兆円)

➡

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

政府は2019年10月に消費税率を10%に引上げることとしています。
この引上げ予定が再び延期される確率は何%程度あると思いますか。

➡

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

日本の政府債務残高（借金）はGDP比で200%を超えており、
3. ギリシアよりも高く、先進諸国の中で最も深刻な状況にあります。
2030年までの間に日本の財政が破綻する確率は何%程度だと思いますか。

➡

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

次へ

【選択肢】番号は回答者へは表示しません

改ページ

Q77

必須

GDP比で200%を超える日本の政府債務残高を縮小し、将来にわたって財政破綻を避けるためには、消費税率を最終的に何%程度に引上げる必要があると思いますか。
社会保障給付などの財政支出は現行制度のままとした場合について御回答ください。

- ☐ 1.8%（引き上げなくても良い）
- ☐ 2.10%
- ☐ 3.10%超～20%以下
- ☐ 4.20%超～30%以下
- ☐ 5.30%超～40%以下
- ☐ 6.40%超～50%以下
- ☐ 7.50%超

次へ

【選択肢】番号は回答者へは表示しません

改ページ

Q78

必須

日本の財政が破綻した場合、非常に高いインフレ率になるとともに、円の価値が大幅に下がるという見方があります。
あなたは、財政破綻の可能性を念頭に資産運用を行っていますか。

- ☐ 1.財政破綻の影響を避けるため、外貨建ての金融資産、不動産などの実物資産を増やしている
- ☐ 2.財政破綻の影響を念頭に置いた資産運用は行っていない
- ☐ 3.そもそも資産運用を行っていない

次へ

Q79

必須

政府財政を健全化するとともに社会保障制度を長期にわたって持続可能にするための手段として、どのような方法に重点を置くべきだと思いますか。

1. 社会保障給付の削減

2. 社会保険料の引上げ

3. 税負担の引上げ

4. わからない

次へ

Q80-1

必須

税制、社会保障制度、教育制度、雇用制度について、それぞれの「先行きの不透明性」の程度を（1）～（3）の選択肢から選んで記入してください。
（矢印方向にそれぞれひとつだけ）

先行きの不透明性について

(1).
非常に不透明感がある

(2).
やや不透明感がある

(3).
あまり不透明感はない

1. 税制（所得税、消費税、相続税・贈与税など）	➡			
2. 社会保障制度（年金制度、医療・医療保険制度、介護保険制度）	➡			
3. 教育制度（無償化、教育国債など）	➡			
4. 雇用制度（労働時間制度、労働者派遣制度、最低賃金制度など）	➡			

Q80-2

必須

税制、社会保障制度、教育制度、雇用制度について、それぞれの「前問で回答した『先行きの不透明性』があなたの生活（消費や就労）に及ぼす影響」の程度を、（1）～（3）の選択肢から選んで記入してください。
（矢印方向にそれぞれひとつだけ）

前問で回答した「先行きの不透明性」があなたの生活（消費や就労）に及ぼす影響について

(1).
非常に影響がある

(2).
やや影響がある

(3).
あまり影響がない

1. 税制（所得税、消費税、相続税・贈与税など）	➡			
2. 社会保障制度（年金制度、医療・医療保険制度、介護保険制度）	➡			
3. 教育制度（無償化、教育国債など）	➡			
4. 雇用制度（労働時間制度、労働者派遣制度、最低賃金制度など）	➡			

次へ

改ページ

Q81

必須

税制や社会保障制度の先行き不透明感は、あなたの消費行動に影響がありますか。

1. 消費を抑えている

2. 消費への影響はない

次へ

改ページ

質問表示条件

条件式

(Q18 or 1)

■ 法律や政府のガイドラインなどに基づく様々なコンプライアンス規制や関連する業界ルール・社内ルールについて、あなたの感じ方やお考えをお伺いします。

Q82-1

必須

あなたの職場において、近年、コンプライアンスが厳しくなっていると感じますか。

1. 感じる

2. 感じない

質問表示条件

条件式

(Q18 or 1)

Q82-2

必須

様々なコンプライアンスをこれまで以上に厳格化することについてどう思いますか。

1.事故や不祥事を減らす上で、一層の厳格化が望ましい

2.間接業務が増加して仕事の効率を低下させるので、一層の厳格化は望ましくない

3.どちらとも言えない

次へ

改ページ

■エビデンス（科学的根拠）に基づく政策についてのお考えをお伺いします。

（注：「エビデンスに基づく政策」とは、政策目的を実現するために有効な政策手段の選択や予算の配分を、統計データや実証分析に基づいて決定するもので、欧米先進国で導入・普及が進みつつあります。）

Q83-1

必須

エビデンスに基づく政策形成についてご存知でしたか。

1.良く知っている

2.聞いたことはあるが良く知らない

3.聞いたことがない

Q83-2

必須

エビデンスに基づく政策形成が必要だと思われますか。

1.必要だと思う

2.ある程度必要だと思う

3.あまり必要ではないと思う

4.全く必要ではないと思う

5.何とも言えない／わからない

Q83-3

必須

日本の政策現場において、政策の企画・立案に当たり、エビデンスに基づく政策形成が意識されていると思われますか。

1.意識されていると思う

2.ある程度意識されていると思う

3.あまり意識されていないと思う

4.全く意識されていないと思う

5.何とも言えない／わからない

Q83-4

必須

日本でエビデンスに基づく政策形成が、現実にはどの程度行われていると思われますか。

1.行われていると思う

2.ある程度行われていると思う

3.あまり行われていないと思う

4.全く行われていないと思う

5.何とも言えない／わからない

Q83-5

必須

エビデンスに基づく政策形成を妨げるものは何だと思われますか。
(いくつでも)

1.政策現場は日常業務が忙しく時間がないこと

2.政策現場にそのような慣行や組織風土がないこと

3.政策がエビデンスと関係なく政治的に決まること

4.統計データの解析や研究を理解する能力が政策現場に不足していること

5.そもそも政策形成に役立つデータや調査研究が少ないこと

6.その他：(回答必須)(入力制限なし)(200文字まで)

次へ

閉じる